

稲作農家 各位

山武稲作情報 第2報

(2026年6月4日発行)



山武農業事務所 改良普及課
TEL: 0475-54-0226
FAX: 0475-52-7914

山武地域の生育状況

現在、山武地域の水稻の生育は、草丈及び葉齢以外は全体的に平年並み～やや少なく推移しています。特に、茎数については移植後の苗の活着遅れや、5月下旬の気温が平年値よりも低く、さらに日照時間も少なく推移したことが影響していると考えられます。今後、幼穂形成期の目標茎数(「コシヒカリ」は目標穂数)の80%を確保できているか確認し、中干しを実施しましょう。また、今後の気温は平年と比較して、高く推移する見込みです。病害虫の発生や生育の早まり等に注意しましょう。

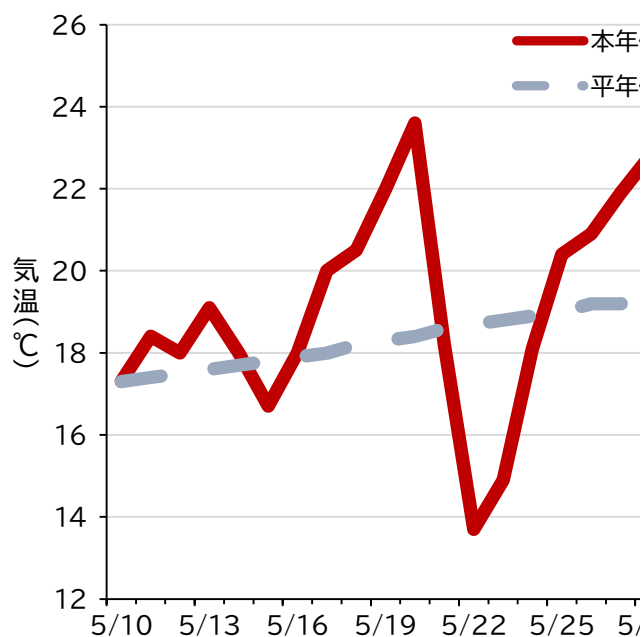


図1 日平均気温の推移(アメダス、横芝光)

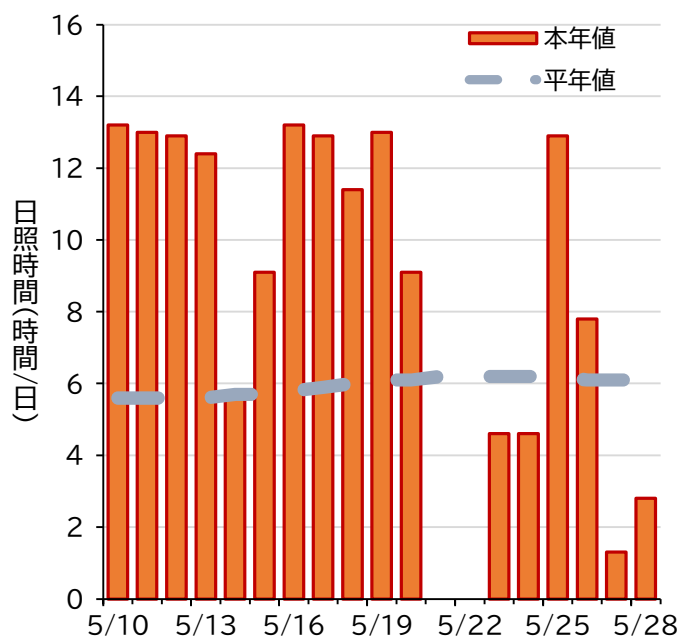


図2 日照時間の推移(アメダス、横芝光)

農作物病害虫雑草防除指針について

千葉県ホームページに「農作物病害虫雑草防除指針(付 植物成長調節剤使用指針)」が掲載されています。本指針は、県内で栽培される主な農作物に発生する病害虫について、農薬の選び方に加え、農薬以外の対策に関する情報を掲載しています。

※利用される方は、「利用に当たって」のページを必ず確認してください。

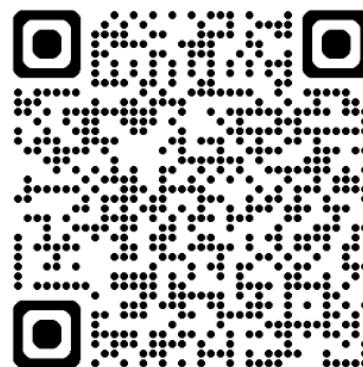


図3 県 HP(農作物病害虫防除指針)

◇重要病害「いもち病」の防除対策



写真1 葉いもちの症状

6月以降はいもち病の感染に適した気象条件となりやすく、発生リスクが急増します。穂がいもち病に感染すると「穂いもち」となり、実が入らなくなるなど収量低下に直結します。「穂いもち」は出穂 25～35 日前の「葉いもち」が主な感染経路であるため、「葉いもち」の発生を抑え、被害を最小限に食い止めましょう。

1. いもち病が発生しやすい「条件」

いもち病は、病斑から飛散した胞子がイネに付着することで感染・拡大します。

① 感染を助長する気象条件

- 気温：24℃前後

(32℃程度までは感染の可能性あり)

- 湿潤時間：10 時間以上葉が濡れた状態が続くこと

山武管内では、6 月以降の降雨や曇天が続く時期に上記の条件が重なりやすくなります。

② 注意すべきほ場条件

- 日陰・風通しの悪いほ場
- 肥料過多のほ場
- 遅植え・砂質ほ場（肥料が短期間で溶出し、一時的な肥料過多状態を招きやすいため）



写真2 穂首いもちの症状

2. 生育ステージ別の被害と防除のポイント

穂いもちの発病後は治療が困難なため、「葉いもちの早期治療」と「穂いもちの事前予防」が重要です。

① 【6 月～】 葉いもちの早期発見・早期治療

葉いもちの病斑(写真1)を確認した場合は、被害が広がる前に「予防・治療効果」のある薬剤を速やか

に散布しましょう。

②【穂ばらみ期～出穂期】穂いもちの予防

発病してからの回復は不可能なため、必ず「予防効果」のある薬剤を予防的に散布しましょう。

③【出穂後 15 日間】感染可能期間の警戒

いもち病菌は、出穂後 15 日程度まで感染の可能性があります。降雨や、日照不足(気温低下)でいもち病の発生が懸念される場合は、追加防除を検討してください。(参考)昨年作の 4 月 26 日移植のコシヒカリほ場(東金市)では、8 月 1 日頃までが感染可能期間でした。

3. 品種別のいもち病抵抗性

いもち病への抵抗性は品種間差があり、品種によっては特に注意が必要です。山武管内で栽培される主要な水稻品種のいもち病抵抗性は表の通りです。

表 水稻品種のいもち病抵抗性

品種	抵抗性	
	葉いもち	穂いもち
ふさおとめ	やや弱	中
ふさこがね	中	強
コシヒカリ	弱	やや弱
粒すけ	強	中

○両総用水の止水期間について

今年度の両総用水の止水期間は6月 16 日から6月 30 日までの予定です※。

※中干し期間の後半については地域の渇水状況により取水可能とする場合があります。

生育調査結果(6月1日現在)

*本年値の()内は平年値との差を示しています。

コシヒカリ

場所・移植日	年次	草丈(cm)	茎数(本/㎡)	葉齢	葉色(CS*値)
東金市 4/28 移植	本年	37.5(110%)	305.4(111%)	8.1(103%)	5.2(106%)
	前年	29.0	252.0	8.4	4.2

ふさこがね

場所・移植日	年次	草丈(cm)	茎数(本/㎡)	葉齢	葉色(CS*値)
山武市 5/11 移植	本年	33.0(115%)	172.0(65%)	5.5(82%)	4.6(94%)
	前年	29.4	298.6	8.0	4.8

ふさおとめ

場所・移植日	年次	草丈(cm)	茎数(本/㎡)	葉齡	葉色(CS*値)
山武市	本年	27.7(104%)	288.6(99%)	7.8(98%)	5.0(97%)
5/4 移植	前年	21.5	165.2	8.2	4.7

幼穂形成期予測(6月1日現在)*

移植日	品種				
	コシヒカリ	ふさこがね	ふさおとめ	粒すけ	アキヒカリ
4/20	6/22	6/14	6/13	6/21	6/11
5/1	6/27	6/19	6/17	6/27	6/16
5/15	7/6	6/28	6/27	7/6	6/26

*幼穂形成期とは幼穂が1～2mmになる時期のことを指しています。

*予測日は水稻生育予測システム「でるた™」(運用試験版)を用いて予測しています(アメダス横芝光)。移植時の苗の葉齡、活着状況、ほ場の気象条件、予測日以降の気象条件により誤差がある場合があります。

千葉県水稻・畑地園芸研究所 成東育成地による生育調査結果(6月1日現在)

*本年値の()内は平年値(過去10年)との差を示しています。

品種・移植日	年次	草丈(cm)	茎数(本/㎡)	葉齡	葉色(CS*値)
コシヒカリ	本年	39.5(109%)	379.5(89%)	8.6(108%)	4.8(94%)
4/24移植	前年	34.1	273.2	7.4	5.0
ふさこがね	本年	32.0(98%)	409.3(90%)	9.0(107%)	5.0(94%)
4/24移植	前年	29.8	280.3	8.1	5.3
ふさおとめ	本年	36.8(108%)	377.6(77%)	9.4(107%)	5.3(100%)
4/24移植	前年	34.1	316.8	8.2	5.2
粒すけ	本年	35.5(102%)	394.9(94%)	9.5(110%)	5.0(92%)
4/24移植	前年	30.8	294.1	8.7	5.1
粒すけ	本年	23.2(98%)	155.8(124%)	6.4(111%)	4.6(108%)
5/15移植	前年	20.9	88	6.1	3.9

次回の発行は6月18日を予定しています。